

令和7年度後期企画展

画家の流儀

池田次男展



池田次男《日差し》1976、油彩

2025年8月30日(土) - 11月24日(月) 振休

● 作品解説会「1枚の絵から読み解く、画家の創作スタイル」

- 日時 10月19日(日) 午前10時30分～
- 会場 利根山光人記念美術館内
- 解説 当館専任研究員 菊地 仁美
- 参加申し込み 不要
- 聴講 無料

● 関連展示

「池田次男の水彩画・スケッチ展」

- 日時 本展と同期間
- 会場 北上市生涯学習センター内

*9月13日(土) 美術館まつり

子ども向けのイベントを行います。
詳細はホームページへ。

*10月25・26日(土・日) 東北文化の日 11月3日(月・祝) 文化の日

どなたさまも無料で観覧できます。10月25日から11月24日までの期間中は、利根山光人のポストカードセットもプレゼント。(図柄は選べません。)



Toneyama Kojin Memorial Art Museum

常設展

「阿吽 佐渡の鬼太鼓」と東北の祭りシリーズ



《佐渡の鬼太鼓 阿》
制作年不明、油彩
(株)コルデン佐渡所蔵

岩手県北上市立花15地割153番地2 ☎0197-65-1808

- 開館時間 10:00 - 16:00 (入館は15:30まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 観覧料金

区分	個人	団体 ※団体は20名以上	共通観覧券
小中学生	60円	40円	200円
高校生	120円	80円	300円
一般	300円	180円	700円

※未就学児無料

※アプリを含む障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳)の提示で同行者1名まで無料。

※定住自立圏内(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)の小中学生は無料。

※北上市消防団員カードの提示で同行者5名まで無料。

※共通観覧券は当館のほか、北上市立博物館、北上市立鬼の館で各1回利用できます。発行日より1年間有効。

- 主催 北上市、北上市教育委員会
※この事業は北上市文化芸術基本条例に基づき実施します。

郷愁の風景画、幅広い表現の展開

——遺作数千点を目の前にこれからこの絵にどう光を与えていけばいいのか考えていたのですが、『なんたら、かっこつけるな、そのままかざるだけでいいから…』と言っているようで、そう思うと肩の力がフッと抜けて、ただ心から皆さんに見ていただけることに嬉しさを感じています。父・池田次男が生涯かけて遺した作品です。一つでも何か心に響くものがあればそれ以上の喜びはありません。

20年前の池田次男遺作展に寄せた遺族の紹介文の抜粋である。

2000年(H12)の画家の逝去後、多くの遺作展が開かれてきた。2006年(H18)には、パリ日仏文化センターでも企画展示されるなど、遺族の尽力により池田の作品はあらゆる場で公開されてきた。かつてのアトリエ、作業場でもあった倉庫には、未公開作品も含め2千点以上もの作品が保管されている。

北上育ちの池田は花巻市二枚橋町にアトリエを構えて創作活動を続けた。自由美術協会や新象作家協会で入選・入賞し、1977年(S52)には安井賞候補作品展に選抜される。1986年(S61)には岩手県優秀美術選奨を受賞するなど、実力は高く評価された。

見る者に郷愁を抱かせる民家や物置小屋など、北国の農村風景は池田の評価を定着させた。大胆に対象を切り取りクローズアップするなど、独自の視点で対象を厳選し、力強く画面を構築していくスタイルで作品は量産され、多くの鑑賞者に受け入れられた。



《無題》油彩、1967年



《屋下がり》油彩、1976年 ※安井賞展選抜作品

1960年代、画家としての初期は抽象的大作を連作している。黒の線や面が画面の骨格を成す平面的で民俗的テーマを感じさせる絵画は、画家の前衛的なチャレンジ精神を大いに感じさせるものである。

また、画家の幅広い創作活動を表すものとして、新花巻駅構内の壁画をはじめ、北上・花巻両市の公共施設などに見られる多くの壁画や彫像、モニュメントは、市民の憩いの場を演出していて一見の価値がある。

本展では池田次男の創作活動を総合的に振り返り、表現の変遷に焦点を合わせてみたい。その創作的な思索や意図の一端に触れるべく、「画家の流儀」に迫りたいと考える。(専任研究員)

「ガタビシ哲学」

池田次男

ひとつの素材を大切に、ボロボロになるまで使い切ることのできる人が、はたして何人いるでしょう。たとえばヨーロッパの建築、私たちが海外旅行、あるいは雑誌やテレビなどで見る石造りの建物は、そこに住む人びとの自分たちの歴史、風土への愛着によって現存しているのです。これらの建物は十一世紀までは木造でしたが、大火災にあってから石造りにかえたといわれています。それ以後、彼らは幾世代にもわたって、これ以上手のほどこしようがなくなるまで修理に修理を重ねて保存に努めてきました。あらゆる手をつくし、修理ができなくなるとはじめて新しく建てかえたといいます。

朽ちはてることの美しさ！生まれることの美しさ！物を大事に使うことの大切さ！生活の原点をそこに見る思いが私にはいたします。

私の仕事場にあるガタビシの作業台にしても、自分で作り、手を加えながら使い続けてきたことで、何かそのガタビシがいとおしく思えたりするのです。そのせいでしょうか、私の仕事場にはガタビシ的存在があふれ過ぎています。

(初出・『いわての共済』1986年11月号)

池田次男 略歴

- 1938(S13) 宮城県で誕生、のち北上市立花で育つ
- 1956(S31) 岩手県立美術工芸学校卒業
- 1957(S32) 自由美術協会初入選(※1961年に退会)
- 1965(S40) 岩間正男と出会い北上の絵画グループ「鬼」に参加
新象作家協会新象展初入選(※1981年に退会)
- 1977(S52) 安井賞候補作品展に選抜
- 1981(S56) 「賢治の世界」を彩る大作を花巻小学校に寄贈
- 1985(S60) 東北新幹線新花巻駅構内の壁画《イーハトーブ花巻》制作
- 1986(S61) 岩手県優秀美術選奨受賞
- 1990(H2) 北上駅東口に「鬼剣舞広場」完成
- 1992(H4) 花巻駅前なはんプラザの壁画《銀河鉄道の夜》制作
- 1995(H7) 花巻駅前広場へブロンズ作品《やすらぎの像》設置
- 2000(H12) 花巻市二枚橋大通りへモニュメント《月を持つ少年》
《花の思い》設置

脳出血のため死去(享年63)

※県内外で個展多数開催



北上市立 利根山光人記念美術館

所在地：岩手県北上市立花15地割153番地2

TEL・FAX 0197-65-1808

【アクセス】

- ・JR北上駅東口からタクシーで10分(徒歩の場合30分)
- ・東北自動車道北上江釣子ICから展勝地方面へ、車で15分
詳細はホームページへ→

